



各 位

会 社 名 株式会社 プラコー 代表者名 代表取締役 古野 孝志 (東証スタンダード・コード6347) 問合せ先 総務部部長 山崎 正彦 電 話 048-798-0222

合弁会社設立に関する基本合意契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、常州大雲環保科技有限公司とプラスチック成形機及びリサイクル機器の普及に向けた合弁会社設立を前提とした協力協定書締結について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立の目的

当社と中国のプラスチック成形機市場でトップクラスの売上高を誇る上海金緯机械制造有限公司 (JWELL) 傘下の事業会社である常州大雲環保科技有限公司の強みを活かした新会社の設立を通じて、国内市場のみならずグローバル市場における競争力強化を目指してまいります。

2. 新会社の概要

| 名称 | 株式会社PLACO&JWELL | | |
|-----------|----------------------------------|--|--|
| 所在地 | 埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田550番地 | | |
| 代表者の役職・氏名 | 会社設立後決定 | | |
| 主な事業内容 | プラスチック成形機およびリサイクル機器の販売 | | |
| 資本金 | 9,900万円 | | |
| 設立年月日 | 2025年12月予定 | | |
| 出資比率 | 株式会社プラコー 51% 常州大雲環保科技有限公司 49% | | |

合弁会社の業績の見通し

合弁会社である株式会社PLACO&JWELLの業績の見通しにつきましては、現時点では未確定です。

3. 合弁相手先の概要

| 名称 | 常州大雲環保科技有限公司 |
|-----|-------------------------------|
| 所在地 | 中国江蘇省常州市溧陽市昆侖街道上上路 118 号 18 棟 |

| 代表者の役職・氏名 | | | | 董事長 池 晨 | | | |
|-------------|------------------|---|---------|---|-----------|-----------|--|
| 主な事業内容 | | | | リサイクル機器、プラスチック成形機、ゴム成形機、電工機械専門 設備、乾燥設備、紡織専門設備、金型の研究開発、加工、組立及び 販売 | | | |
| 資本金 | | | | 500 万人民元 | | | |
| 設立年月日 | | | | 2017年4月10日 | | | |
| 大株主及び持株比率 | | | | 上海金緯螺杆製造有限公司 51.00%、蔡春 27.00%、戎清亮 13.10%、 顧青青 4.90%、袁興波 2.00%、王躍 2.00% | | | |
| 上場 | 上場会社と該当会社との関係 | | | | | | |
| 資 | 本 | 関 | 係 | 該当事項はありません | , | | |
| 人 | 的 | 関 | 係 | 該当事項はありません | | | |
| 取 | 引 | 関 | 係 | 該当事項はありません | | | |
| 関連当事者への該当状況 | | | 状況 | 該当事項はありません | | | |
| 直近 | 直近3年間の経営成績及び財政状態 | | | | | | |
| 決 | 算 | Ĺ | 期 | 2022年12期 | 2023年12期 | 2024年12期 | |
| 純 | 資 | ŧ | 産 | 413 百万円 | 501 百万円 | 377 百万円 | |
| 総 | 資 | ŧ | 産 | 1,006 百万円 | 1,083 百万円 | 1,066 百万円 | |
| 売 | 上 | - | 高 | 1,051 百万円 | 1,256 百万円 | 1,237 百万円 | |
| 営 | 業 | 利 | 益 | 191 百万円 | 141 百万円 | 218 百万円 | |
| 親会当 | : 社株主 期 | | する 益 | 186 百万円 | 137 百万円 | 204 百万円 | |

※為替レートは1人民元=20.87円で換算(2025年9月25日現在)

4. 株式会社プラコーの概要

| 名称 | 株式会社プラコー | | |
|-----------|---|--|--|
| 所在地 | 埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田550番地 | | |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 古野 孝志 | | |
| 主な事業内容 | プラスチック成形機、リサイクル機器の製造・販売、システム開発、SE人材派遣事業 | | |
| 資本金 | 819百万円 | | |
| 設立年月日 | 1960年8月17日 | | |

5. 今後の見通し

本件が2026年3月期連結業績に与える影響は、未確定です。今後、開示すべき事項が発生いたしましたら速やかにお知らせいたします。

以上